

あなたの高血圧のタイプは？

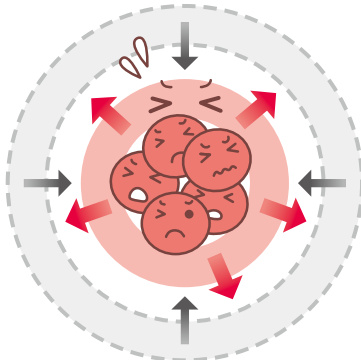
血液が流れるときに血管に与える圧力のことを血圧といいます。血管がせまくなったり、血液の量が増えたりすると、血液が血管に与える圧力が高まり高血圧となります。

血管がせまいタイプの高血圧

※ 両方の原因が同時におこるタイプの高血圧もあります。

おもな原因

- ・ストレス
- ・神経質な性格
- ・動脈硬化 など

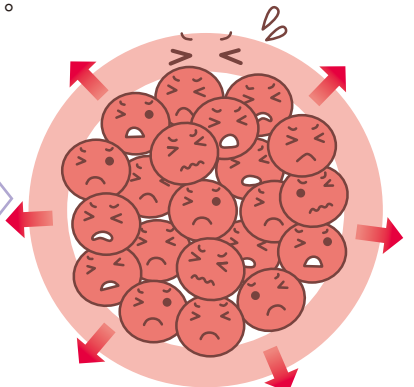


水がちょろちょろ出ているホースの口をギュッとつまみ、ホースの口をせまくすると水は勢いよく流れます。これと同じように、血管がせまくなると、血液が血管に与える圧力が高まります。

血液量が増えたタイプの高血圧

おもな原因

- ・塩分のとりすぎ
- ・高齢
- ・腎機能の低下 など



蛇口を全開にして水の量を増やすと、水は勢いよく流れます。これと同じように、血液の量が増えると、血液が血管に与える圧力が高まります。

おもな高血圧治療薬のはたらき



血管をひろげて 血圧を下げる薬

☐ カルシウム拮抗薬

血管を収縮させるカルシウムが血管に取り込まれるのを防ぎ、血管をひろげて血圧を下げる

☐ ARB (アンジオテンシン受容体拮抗薬)

☐ ACE阻害薬 (アンジオテンシン変換酵素阻害薬)

☐ 直接的レニン阻害薬

血管を収縮させるホルモンのはたらきを抑え、血管をひろげて血圧を下げる

☐ α 遮断薬

交感神経のはたらきを抑え、末梢血管をひろげて血圧を下げる

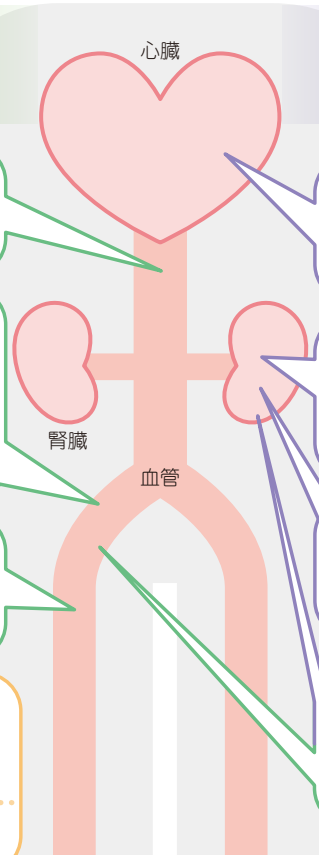
☐ ARB+カルシウム拮抗薬

☐ ARB+利尿薬

☐ ARB+カルシウム拮抗薬+利尿薬

2つ以上の成分を1つにまとめた薬(配合剤)

※脂質異常症治療薬と組み合わせた配合剤もあります



血液量を減らして 血圧を下げる薬



☐ β 遮断薬、 $\alpha\beta$ 遮断薬

心臓のはたらきを抑え、血液の流れる量を減らして血圧を下げる

☐ ループ利尿薬

☐ チアジド系利尿薬

ナトリウムや水分の排泄を良くし、血液の量を減らして血圧を下げる

☐ MR拮抗薬

体液量を増やすホルモンのはたらきを抑え、血液の量を減らして血圧を下げる

☐ アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬

ARB等と同様に血管をひろげるとともに、体液量を減らすホルモンのはたらきを強め、血液の量を減らして血圧を下げる

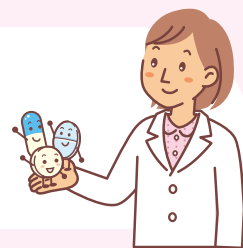
あなたのお薬に☑が記してあります。

おもな高血圧治療薬(降圧薬)一覧

※単剤で効果が乏しいときは、異なる作用の降圧薬を併用したり、異なる作用の降圧薬を組み合わせた配合剤が用いられることがあります。
また、脂質異常症を合併する方には、高血圧治療薬と脂質異常症治療薬の配合剤（アムロジピンとアトルバスタチン）が用いられることもあります。

分類	おもな製品		おもな副作用
血管をひろげる	カルシウム拮抗薬	アゼルニジピン、アラニジピン、ジルチアゼム、ニカルジピン、ニフェジピン、バルニジピン、ベニジピン、	アムロジピン、エホニジピン、シルニジピン、ニトレンジピン、ニルバジピン、フェロジピン、マニジピン
	ARB	アジルサルタン、オルメサルタン、テルミサルタン、ロサルタン	イルベサルタン、カンデサルタン、バルサルタン、
	ACE阻害薬	アラセプリル、エナラプリル、テモカプリル、トランドラプリル、ペリンドプリル、	イミダプリル、カプトプリル、デラプリル、ベナゼプリル、リシノプリル
	直接的レニン阻害薬	アリスキレン	
	α 遮断薬	ウラピジル、ドキサゾシン、プラゾシン	テラゾシン、ブナゾシン、
血液量を減らす	アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬	サクビトリルバルサルタン	
	β 遮断薬	アテノロール、セリプロロール、ニプラジロール、ピンドロール、ベタキソロール、	カルテオロール、ナドロール、ビソプロロール、プロプラノロール、メトプロロール
	$\alpha\beta$ 遮断薬	アモスラロール、カルベジロール、ラベタロール	アロチノロール、ベバントロール、
	ループ利尿薬	フロセミド	
	チアジド系利尿薬	インダパミド、トリパミド、ベンチルヒドロクロチアジド、	トリクロルメチアジド、ヒドロクロチアジド、メフルシド
	MR 拮抗薬	エサキセレノン、スピロラクトン	エプレレノン、

施設名



提供: 日本ケミファ株式会社

2022年12月
2L1(※)